

# モン太とつちまるの植物日記

## 「上高津貝塚菜園」

秋の企画展が始まりました！今回は考古資料館だけではなく、外の広場なども見所になっています！

資料館の玄関先では、企画展に関連した植物をプランターで栽培しています。エゴマや donguri (アベマキ)、ダイズやアズキ、ササゲといったマメ類、イネがあります。縄文時代にはダイズやアズキの野生種であるツルマメやヤブツルアズキを利用していたことがわかっています。



### エゴマ



### donguri (アベマキ)



### ダイズ



花が終わった  
ところです



### ササゲ



### アズキ



ダイズは「畑の肉」と呼ばれるように良質なたんぱく源になります

# モン太とつちまるの植物日記

## 「紅葉と雪」

先日11月24日、関東では記録的に早い積雪が観測されました。広場一面に雪が積もり、翌日まで残っていました。広場ではイロハモミジの紅葉が見ごろで、紅葉と雪を同時に楽しめた瞬間でした。

ドングリなどの秋の収穫は終わりに近づいてきましたが、広場ではシラカシやアラカシが実っています。またイロハモミジの紅葉も見ごろです。ドングリはクリスマスのオーナメントにもいいかもしれません。遊びに来てくださいね。



平成28年11月24日撮影  
左：イロハモミジと雪 広場  
右上：竪穴住居と雪 広場



平成28年11月25日撮影  
紅葉したエノキと雪だるま 広場



平成28年11月3日撮影  
竪穴住居 広場  
今年も広場のドングリにお絵かきしました。

# モン太とつちまるの植物日記

## 「木になる葉痕」

2017年を迎えました。今年もよろしくお願いします。  
冬の広場は、木々の葉が落ち、いつもより広く感じられます。  
そんな冬の見所は「葉痕(ようこん)」です。葉痕とは、葉が落ちた  
あとです。観察すると、サルの顔のように見えるものもあります。  
冬芽とともに、広場で探してみてくださいね。



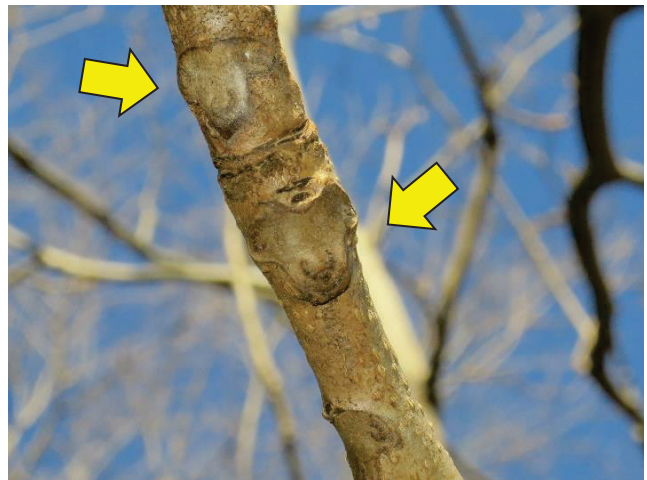
平成28年12月17日撮影  
トチノキの冬芽と葉痕 広場



平成28年12月17日撮影  
トチノキの葉痕 広場



平成28年12月17日撮影  
ホオノキの冬芽と葉痕 広場



平成28年12月17日撮影  
ヒメグルミの葉痕 広場

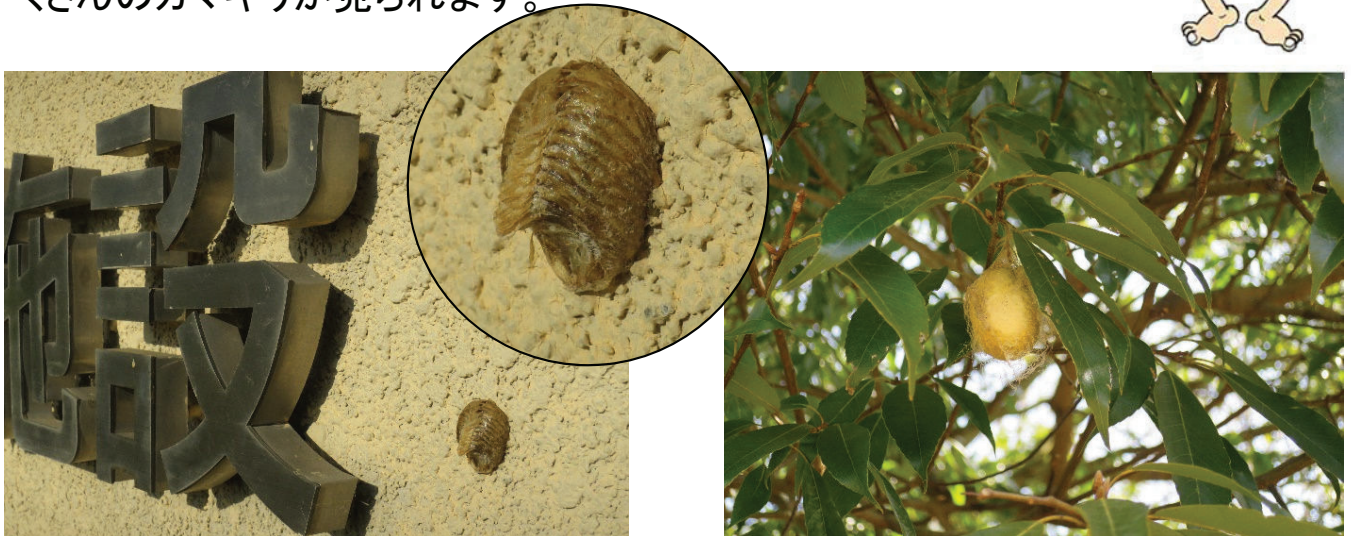


# モン太とつちまるの植物日記

## 「冬を越す卵たち」



広場には、たくさんの虫がいますが、冬を越すさまざまな卵や蛹（さなぎ）が見られます。建物の壁にはカマキリの卵、シラカシの葉には繭玉のような蛹が見られました。春になると、広場ではたくさんのカマキリが見られます。



平成29年2月17日撮影  
カマキリの卵 貝層断面展示施設壁

平成29年2月17日撮影  
シラカシの葉についたさなぎ 広場

2月から3月にかけては至る所でウメが満開となります。  
考古資料館入り口にあるウメの花は、皆さんを満開で迎えています。



平成29年2月12日撮影  
ウメ 資料館入口



# モン太とつちまるの植物日記

## 「舞い散る桜と芽生え」

広場の桜は3月30日に開花宣言となり、4月12日ころには満開を迎えました。1月中頃から早春にかけて、ウメやモモが咲き、入れ代わるように桜が開花します。また、落葉広葉樹も少しずつ新しい葉が広がってきました。木々が薄い黄緑色に見えてきています。例年より葉の展開が遅いです。



平成29年4月13日撮影  
左:クヌギの花  
中:モチノキの花のつぼみ  
右:ツルボの芽



平成29年4月13日撮影  
桜と貝層平面展示  
手前の白いものは貝殻で桜の花びらではありません。



平成29年2月13日撮影  
桜 貝層断面展示施設



# モン太とつちまるの植物日記

## 「白い花々」

6月に入り、広場の木々は青々としています。白い花が咲く木は5～6月の初夏にまとまって見られるそうです。広場では、ホオノキやトチノキ、ヤマボウシ、ドクダミなど白い花をつける植物がたくさん見られます。緑と白のコントラストがとても綺麗で、涼しげに見えます。この時期らしい色合いです。



土浦市イメージキャラクター つちまる



平成29年5月14日撮影  
ホオノキの花(終わりました)



平成29年5月14日撮影  
トチノキの花(花は終わりました)



平成29年6月1日撮影  
ドクダミの花(咲いています)



平成29年6月4日撮影  
ヤマボウシ(白い花びらに見える部分は  
実は花ではなく総苞片)(咲いています)



# モン太とつちまるの植物日記

## 「2年ぶりの結実」

梅雨が明けて、夏本番ですね。広場ではセミの声のにぎやかです。広場では、着々と実をつけている植物が見られます。オニグルミやトチノキ、ホオノキ、カヤ、ヤブツバキなどです。カヤの実は熟しても緑色です。花のついた翌年に実がなるので、2年ごとにしか結実しません。カヤの実には縄文時代の遺跡からも見つかることがあります、食べることができます。



平成29年7月26日撮影  
ヤブツバキの赤い実  
5cm近い球形になります。



セミはどこにいるでしょう？



平成29年7月26日撮影 広場  
カヤ 緑色の実がたくさんついています。



# モン太とつちまるの植物日記

## 「木の実収穫シーズン入り」

9月に入り、秋らしくなってきましたね。  
クルミは収穫が始まっています。風や雨が強い日にはたくさん落ちています。

トチノキの実も、今年の夏が涼しかったせいか、収穫はこれからです。シカラシやクヌギ、アベマキの緑色の実も大きくなりました。これから木の実の収穫が楽しみです！



平成29年9月3日撮影 広場  
トチノキ  
茶色の果実が3つに分かれて、その中に黒い種子が1つ入っています。



平成29年8月29日撮影  
オニグルミ  
緑色の果実の部分を剥くと、見慣れたクルミの殻が出てきます。



平成29年9月3日撮影 広場  
アベマキ  
どんぐりはまだ緑色ですが大きくなりました。



平成29年9月3日撮影 広場  
ホオノキ  
とげとげした大きな赤い実がなります。中には種が入っていますが、残念ながら食べられません。

# モン太とつちまるの植物日記

## 「小さな秋の実」

暑くなったり寒くなったり，人も植物もびっくりの天気です。広場では，さまざまなドングリ以外に，マメガキも実をつけています。おいしそうに見えますが，大変苦いです。また，アカシデの木には，葉に似た果実がぶらさがっているのが観察できます(果穂)。これがしめ縄に飾る四手のように見えることが名前の由来です。



マメガキ 平成29年10月14日撮影 広場  
ミニチュア柿がついています。

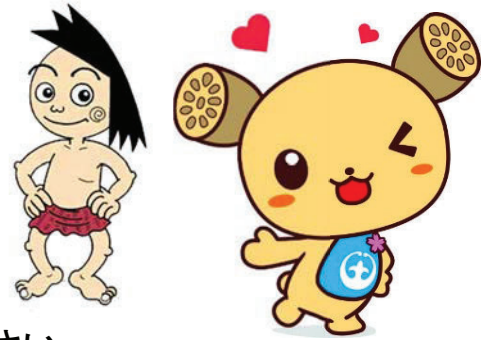


アカシデ 平成29年10月14日撮影  
果穂がついています。果穂には果苞がつき，果苞の基部に種子がついています。

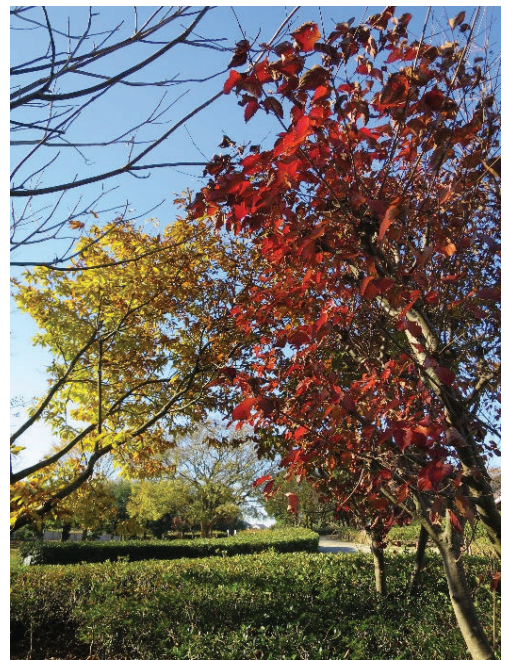
# モン太とつちまるの植物日記

## 「赤と黄色の紅葉」

紅葉が見ごろとなってきました。  
今年も、赤も黄色も綺麗に紅葉しています。  
赤色の葉の代表は、イロハモミジとヤマボウシです。  
黄色の葉は、クリやクヌギ、コナラです。  
晴れた日には、広場の紅葉を撮影しにぜひ来てください。



イロハモミジと掘立柱建物  
平成29年11月28日撮影 広場



ヤマボウシとクリの紅葉  
平成29年11月28日撮影 広場



シラカシのどんぐり  
平成29年11月28日撮影 広場  
竪穴住居のそば、土器型ベンチのまわり  
にはたくさんのどんぐりが落ちています。